

実験ノートの まちがいを 直そう ⑤

なまえ _____

小4/水の すがた 正しい文と まちがった 文を見分けよう (さくらの ノート)

ひづけ _____

さくさんが 調べた ことを、ノートに まとめました。線を 引いた ところの うち、まちがいが 3つ あります。
まちがいの 番号と、直す ことばを 語群から えらんで、番号の 小さい 順に 書きましょう。
正しい ことばは、語群の 記号 (ア・イ など) で 書きましょう。直した 理由 (なぜ そう なるのか) も、1文で 書きましょう。

さくらの 実験ノート

- ① 水を 熱し続けると、100℃近く で ふっとうした。
- ② 出て くる あわの 正体は、空気 だった。
- ③ ふっとうしている 間、温度を 見ると、あまり 上がらなかった。
- ④ 冷やした 水とうの 外がわ に 水てきが ついた。
- ⑤ この 水は、100℃に ならなくても じょうはつする。
- ⑥ 水を 冷やし続けると、100℃近く で こおり始めた。
- ⑦ 水が こおって 氷に になると、体積は 大きく なった。
- ⑧ せんたく物が かわいたのは、水が 0℃に なった ときだけ じょうはつするから だ。
- ⑨ ふたを した びんの 内がわ に 水てきが ついた。
- ⑩ まどガラスの くもりの 正体は、水てき だった。

語群

ア 水じょう気 イ 空気 ウ 0℃ エ 100℃近く
オ 100℃に ならなくても カ 100℃に なった ときだけ

まちがいの 番号と、直す ことば (3つ・番号の 小さい 順)

1つ目 番号 → 正しい ことば

わけ: _____

2つ目 番号 → 正しい ことば

わけ: _____

3つ目 番号 → 正しい ことば

わけ: _____



実験ノートの まちがいを 直そう ⑤【こたえ】

なまえ

小4/水の すがた 正しい文と まちがった 文を見分けよう (さくらの ノート)

ひづけ

さくさんが 調べた ことを、ノートに まとめました。線を 引いた ところのうち、まちがいが 3つ あります。
まちがいの 番号と、直す ことばを 語群から えらんで、番号の 小さい 順に 書きましょう。
正しい ことばは、語群の 記号 (ア・イ など) で 書きましょう。直した 理由 (なぜ そう なるのか) も、1文で 書きましょう。

さくさんの 実験ノート

- | | |
|---|---|
| ① 水を 熱し続けると、 <u>100℃近く</u> で ふっとうした。 | ○ |
| ② 出て くる あわの 正体は、 <u>空気</u> だった。 | × |
| ③ ふっとうしている 間、温度を 見ると、 <u>あまり 上がらなかった</u> 。 | ○ |
| ④ 冷やした 水とうの <u>外がわ</u> に 水てきが ついた。 | ○ |
| ⑤ この 水は、 <u>100℃に ならなくても</u> じょうはつする。 | ○ |
| ⑥ 水を 冷やし続けると、 <u>100℃近く</u> で こおり始めた。 | × |
| ⑦ 水が こおって 氷に になると、体積は <u>大きく</u> なった。 | ○ |
| ⑧ せんたく物が かわいたのは、水が <u>0℃に なった ときだけ</u> じょうはつするから だ。 | × |
| ⑨ ふたを した びんの <u>内がわ</u> に 水てきが ついた。 | ○ |
| ⑩ まどガラスの くもりの 正体は、 <u>水てき</u> だった。 | ○ |

語群

ア 水じょう気 イ 空気 ウ 0℃ エ 100℃近く
オ 100℃に ならなくても カ 100℃に なった ときだけ

まちがいの 番号と、直す ことば (3つ・番号の 小さい 順)

1つ目 番号 ② → 正しい ことば ア (水じょう気)

わけ: ふっとうして 出て くる あわは、水が すがたを 変えた 水じょう気だから。

2つ目 番号 ⑥ → 正しい ことば ウ (0℃)

わけ: 水は 0℃で こおり始める から (100℃近くは 熱した ときに ふっとうする 温度)。

3つ目 番号 ⑧ → 正しい ことば オ (100℃に ならなくても)

わけ: 水は 100℃に ならなくても、少しずつ じょうはつしている から。

わけの いいかたは ちがっていても、内容が 合っていれば 正かいです。